

盲導犬総合支援センターは「盲導犬応援プロジェクト」の活動により、盲導犬ユーザーが安心・安全にそしてもっと楽しく歩ける社会を目指しています。



声かけパンフに込めた想いはこちらのQRコードでご覧いただけます。



盲導犬ユーザーへの見守り・声かけをよろしくだよ！

盲導犬総合支援センター
公式キャラクター
もうどう犬 エルクン

JOYFUL HONDA

見守ってくれてありがとう

でもあなたのひとことでもお〜つと/ハッピー



盲導犬応援プロジェクトとは

1 盲導犬総合支援センター 1口10000円の応援

盲導犬ユーザーが楽しく外出できる支援活動

- 1 声かけ缶バッジを盲導犬ユーザーにプレゼント
- 2 声かけパンフを一般の皆さまに配布
- 3 盲導犬ウェルカム店にエルくん熊手ステッカーを配布

活動の詳細は公式HPでご覧いただけます。

盲導犬応援プロジェクトへのお問い合わせ先

みつけた！私にできること。 / 一般社団法人 盲導犬総合支援センター

横浜市都筑区茅ヶ崎南5-2-22-2F
TEL:045-949-0323 FAX:045-949-0327
<https://goguidedogs.jp>



制作：一般社団法人盲導犬総合支援センター
監修：公益財団法人日本盲導犬協会

このパンフレットは株式会社 ジョイフル本田の協力のもと作成されました。

もうどうけん 盲導犬と盲導犬ユーザー（使用者）は、どのように歩いているの？

盲導犬って見たことはないけど、行きたいところへ連れて行ってくれる頭のよい子たちなのよね！

ちょっと待たですよ！ぼくたちにできることはこの3つだよ！

盲導犬にできる3つのこと

- 1 かど角を教える
- 2 だんさ段差を教える
- 3 しょうがいぶつ障害物をよける

盲導犬がしないこと

- × 行きたい所までの道を教える
- × 信号の色で止まったり進んだりする
- × レジ待ちの列が進んだことを知らせる

盲導犬ユーザーはどこまで歩いているのか ユーザーさんにお話を聞いたよ！

はじめての場所に行く時は、出かける前に地図を自分の頭の中に入れます。そして盲導犬が教えてくれる情報と頭の中の地図で答え合わせをしながら歩くのです。（盲導犬ユーザー・浅見さん）

たとえば2つ先を左に曲がったところにあるカフェに行く時には…



盲導犬ユーザーがこまる状況はさまざま！

ユーザーさんが迷うとぼくたちと一緒に迷ってしまうんだよ！

- ✓ 横断歩道では人の足音や車の音を頼りにして渡るのですが、信号の色が分かりにくい。
- ✓ 電車の車内で空いている席や場所に気づきにくい。
- ✓ 列の進み具合が分かりにくい。

盲導犬ユーザーを見かけたら >>> そっで見守り「お困りかな？」と思ったら、お手伝いの声かけをよろしくだよ。この中にお手伝いの方法が、書かれているよ！



ここからスタート!

—ステップ1—

盲導犬を連れて来た方
お手伝い
しましょうか?



—ステップ2—

どのようにご案内
しましょうか?



—ステップ3—

では、歩きます



—ステップ4—

ここで失礼します



声かけのポイント

- ☑ 声をかける相手は、盲導犬ユーザー。
- ☑ 盲導犬ユーザーの横、もしくは前に立って、声をかけましょう。
※真後ろなど、盲導犬ユーザーの体の向きがかわる方向から声をかけると、進行方向が分からなくなってしまいます。
- ☑ 手を引く、ハーネスをつかむことはしないでください。
※おどろいてバランスが取れなくなることがあるため、とてもキケンです。

手引き誘導が必要な場合

ひじ、かたを持ってもらうなど、方法を盲導犬ユーザーに聞いてください。
注1: 目の見える方が、目の見えない方、見えにくい方を誘導して歩く方法

不要な場合

▶ ステップ4へ

青信号になったら教えてほしい、お店の入口を知りたいなど。
その場合は、盲導犬ユーザーが希望するお手伝いをお願いします。

道の状況を教えましょう

「止まります」「(右に)曲がります」など声に出しながら歩くと安全です。
段差の前では止まり、「上り(下り)です」と声をかけてください。
また「ゆっくり(速く)歩きましょうか?」と聞き、盲導犬ユーザーの速度に合わせることも大切です。

お手伝いが終わったら

何も言わずその場から居なくなるのではなく、声をかけてください。
「お礼を言いたかったのに、相手が居なくて残念だった」という盲導犬ユーザーの声もありました。

!!!
こんな時は...



「お手伝いはらない」と言われたら?

人を待っているだけだったり、いつも通る道だったり、お手伝いがいない場合もあります。
そんな時は「お気をつけて!」と見送って、また声かけの気持ちを持っていただけると嬉しいです。

お手伝いができるか不安...

自分が知らない場所だったり、急いでいたり、最後までお手伝いできない場合もあります。
そんな時は、今できるお手伝いを伝えていただければ大丈夫です。

盲導犬ユーザーが教えてくれた うれしかった声かけエピソード

こちらでもたくさんのエピソードを紹介しています!



地下鉄で

電車が来るのを待っていたら「電車が来たので乗りましょう」「ここから乗車口です」と声かけしてくれました。
車内で立っていると、他の方が「席を空けてくれましたよ」と教えてくれました。席を空けて下さった方が声をかけられなかったのだと思います。多くの方の親切のリレーがとてもうれしかったです。(金田さん)



病院で

診察券や保険証など手渡すものがたくさんあります。
返していただく時、盲導犬がいるため両手が空かず、一度に受け取ると手から落ちて分からないこともあります。
そんな時、落とし物を教えていただき、助かりました。
また、ひとつずつ手渡していただいたこともあり、こちらとてもありがたい気配りです。(杭迫さん)



買い物で

マスクが無いころ、忘れて出かけてしまいコンビニに行きました。そこで他のお客さまに「何かお探しですか?」と声をかけられ、その方がコンビニや他のお店と一緒に探してくれたのです。どこにも無くて最後には一枚分けてくれたのですが、私のために時間を使って案内してくれて、心から感謝、感謝です。(三宅さん)



番外編

「犬もとてもいい顔をしているね、お互いがベストパートナーであることが見ていて分かる」と駅で声をかけられ、とてもうれしかったことがあります。
犬と人の両方を見てくれることを感じ「ベストパートナー」という言葉がまっすぐ心に届いて、今でも力になっています。自分にとっては言葉の金メダル。(櫻井さん)

